

# 賛成多数で決算認定

## 平成21年度に行った主な事業

患者輸送車導入事業	420万円
畜産規模拡大支援事業	1,948万円
しらたか園芸担い手チャレンジプラン支援事業	1,340万円
ため池等整備事業	189万円
道路改良事業（赤坂深山線）	9,229万円
道路改良事業（向福寺坂線）	1,920万円
道路改良事業（荒砥駅本宿線）	1,530万円
四季の郷交流広場整備事業	2,257万円
宮の前交流広場整備事業	6,512万円
鮎貝まちづくり町道整備事業	2,251万円
鮎貝まちづくり拠点施設整備事業	8,549万円
四季の郷住宅整備事業	4,353万円
学校ICT環境整備事業	7,759万円
スクールバス導入事業	4,175万円
学校耐震化事業	5,396万円



## 監査意見書

### 効率的でスリムな行政運営を

平成21年度予算は、世界的経済不況の影響を依然ひきずる中、緊急雇用対策や緊急経済対策、地域活性化・生活対策など幾重にも補正予算を措置し、国、県との連携のもと、各事業に取り組み、景気の回復に努めるなど、努力と苦勞の跡が伺えた。結果として実質収支や単年度収支、実質単年度収支とも黒字となったものである。

町民は、効率的でスリムな行政運営を期待している。若手職員の民間企業での研修が一定の成果につながっている中で、民間的な発想を行政に取り入れ、発想の転換とさらなる行動力が求められる。

職員は町民との信頼構築のために、担当する業務を理解し、町民の問い合わせ相談等には、前向きに着実に対応することが強く期待される。

代表監査委員 小林泰史  
監査委員 加藤秀人

## どうなる？ まちの財政力

区分・年度	21年度	20年度	19年度	説明
財政力指数	0.268	0.274	0.27	1.00に近いほど余裕がある。
経常収支比率	93.2	92.2	93	70%に収まるのが妥当。80%を超えると危険ライン。
自主財源比率	24.5	26	29	町税、固定資産税など自ら調達できる財源。
公債費比率	13.1	15.8	17.6	20%以上は赤信号。
実質公債費比率	19.1	21.1	22	公営企業等も含む。18%以上は起債（借金）に県の許可が必要。